

飽水管理の継続で品質向上の総仕上げ！ 最終かん水は出穂後25日以降とし早期落水は避けましょう！

1. 登熟期の飽水管理

(1) 根の活力維持と穂肥の効果高める為、飽水管理を継続してください。

① 飽水管理を行うことで、白未熟粒の発生を抑制し、整粒歩合を高められます(図1)。

② 飽水管理は日中及び夜間の地温の上昇を抑えることができます(図2)。

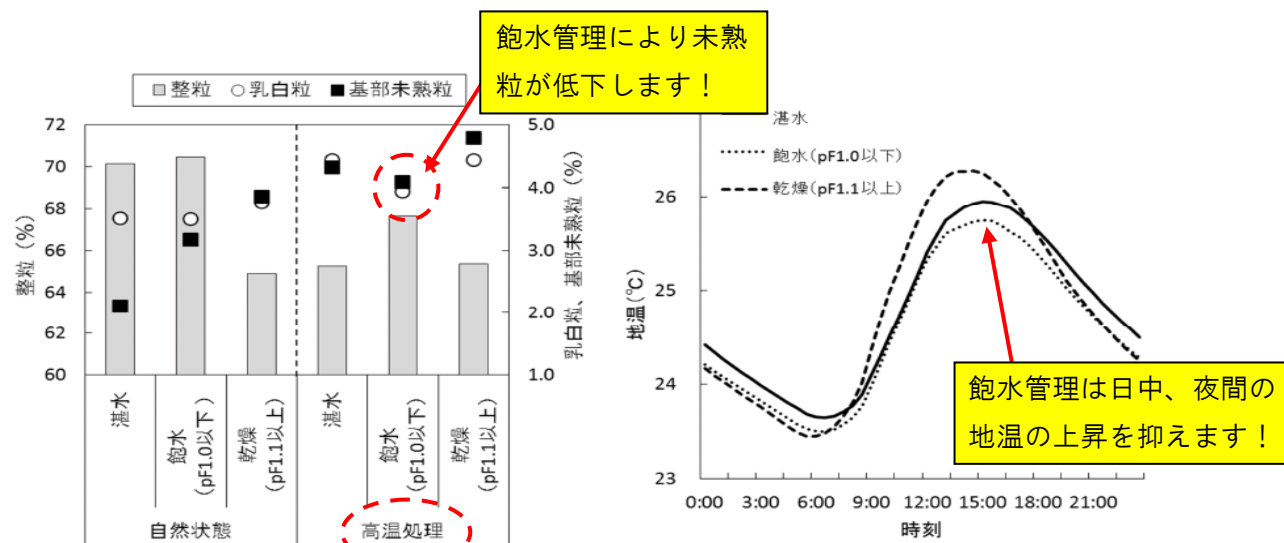


図1 登熟期の水管理と品質の関係
(平成25～26年)

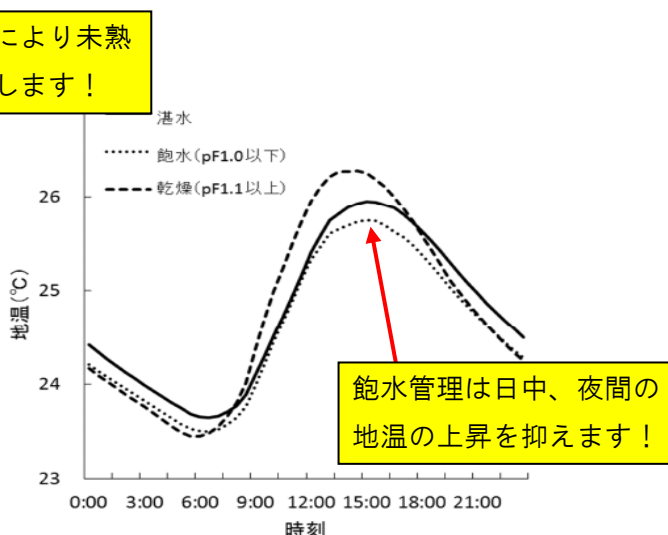


図2 登熟期の水管理と時間別地温の関係
(平成25～26年)

注) 出穂期10日前から25日後までの地温の平均を測定した。

(2) 飽水管理とは

【再確認！】 飽水管理とは？

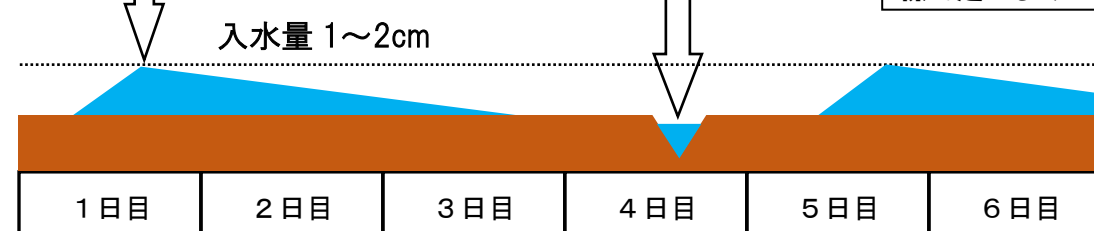
- ☑ 水尻を止めて入水し、田面の水が自然減水でなくなり、溝や足跡の底に水が溜まっている状態になったら再びかん水し、**土壌の湿潤状態を保つこと。**
- ※ **水を常に溜める「湛水状態」ではありません。**
- 飽水管理 ⇒ 酸素と水を両方供給し、根の活力を維持しましょう。

(3) 異常高温、強風・フェーンが予想される場合には事前に湛水し、稲体からの急激な蒸散による障害の発生防止に努め、異常高温・フェーン時は水温上昇を抑えるこまめな水管理をしながら品質の高温障害を防ぎましょう。

(4) 飽水管理のイメージ(例) ～ほ場の水持ちが2～3日程度の場合～
特に、高温で連続無降雨の時は過度の土壌乾燥に注意してください(大ヒビ厳禁)
➡ **根を切断し、出穂期以降の葉色低下と品質低下を招きます。**



(例) 圃場の水持ち2～3日程度の場合の飽水管理

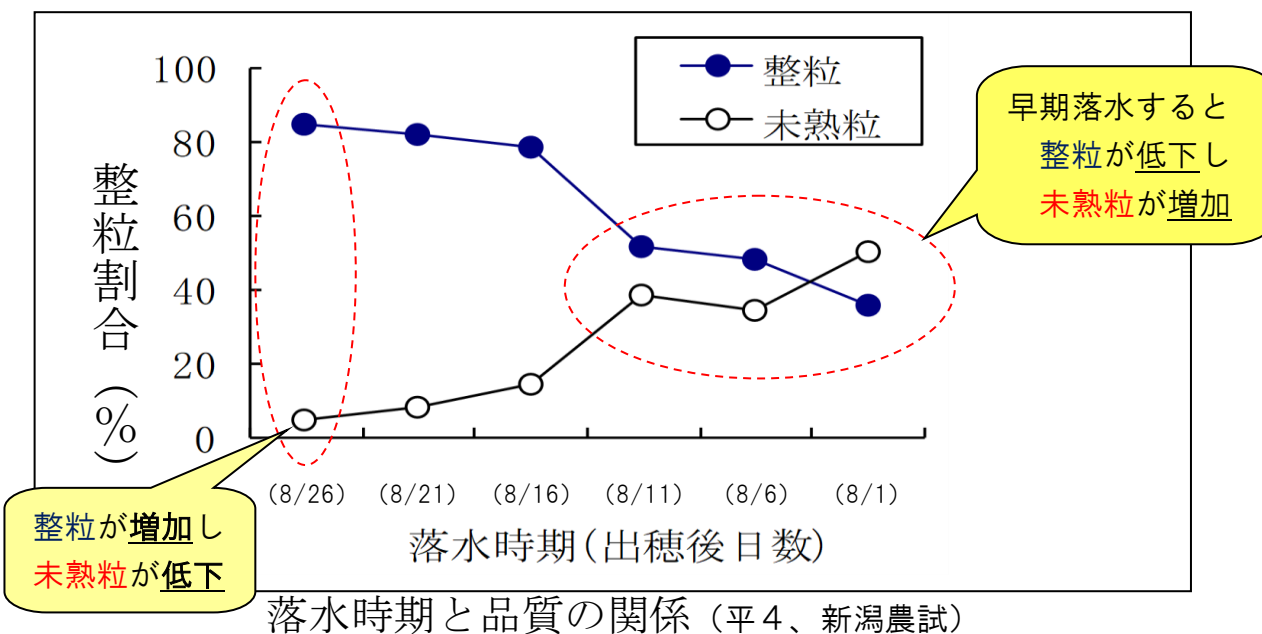


※① 日数はあくまで目安です。地域の実情にあった水管理をお願いします。

※② **かけ流し等は行わず、限りある用水を地域全体に行き渡るようにしましょう。**

(5) 最終かん水は出穂後25日以降とし、早期の落水は避けましょう。

- ・早期落水は、下葉の枯れ上がりや倒伏を助長するだけでなく、登熟不良による未熟粒や着色粒を増加させ、品質低下を招きます。また、粒張りが悪く減収につながります。
- ・コンバイン収穫に支障が生じない範囲で、出穂後25日以降も可能な限りかん水を行い、土壌水分を維持しましょう。暗渠栓の開放は可能な限り遅くしましょう。



(6) 毎日の天気予報に加え県からの情報(台風によるフェーン現象発生に関する緊急情報等)を活用し、地域の水利事情にあった適切な水管理を行いましょう。

2. 斑点米カメムシ

◎向こう1か月の気温は平年比高いと予想されており、**斑点米カメムシ類の増殖や水田侵入後の加害活動が活発になると推測されます。カメムシ斑点米対策を徹底しましょう！**

- (1) 水田内のヒエやホタルイ等の雑草が結実するとカメムシ類の餌や増殖源となりますので、早めに除去しましょう。
- (2) 雑草が出穂・結実する前に、畦畔・農道の除草をしてください。
 - ・斑点米カメムシは出穂したイネ科雑草（ヒエ・メシバ等）を好むため、これらの雑草が畦畔・農道で出穂しないようにすることでカメムシの密度を低く抑えることができます。
 - ・特に、出穂期前後3週間はイネ科雑草を出穂、結実させないよう草刈りを実施しましょう。
 - ※高温やフェーン時に枯草が多いと着色粒が発生しやすいので、刈取草は除去して下さい。
- (3) スタークル粒剤の散布適期は出穂期～出穂期7日後です。水深3cm程度の浅水で散布してください。



斑点米カメムシ類の水田畦畔すくい取り結果（7月上旬新潟県病害虫防除所）

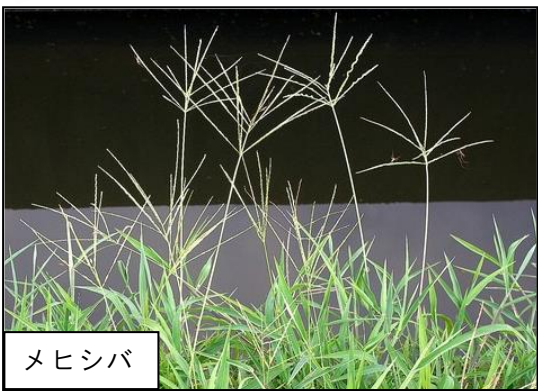
種 類	確認地点数（％）				平均虫数（頭）			
	本年	前年	平年	平年比	本年	前年	平年	平年比
アカスジカスミカメ	71.6	60.8	49.1	高	34.7	12.8	10.6	多
アカヒゲホソミドリカスミカメ	55.4	51.4	44.2	やや高	4.1	2.4	4.5	並
オオトゲシラホシカメムシ	14.9	9.5	10.6	やや高	0.2	0.2	0.2	並
ホソハリカメムシ	4.1	4.1	1.2	高	0.1	0.0	0.0	多
クモヘリカメムシ	1.4	0	0.5	やや高	0.0	0	0.0	並



【イネ科雑草】



ヒエ



メシバ



オヒシバ

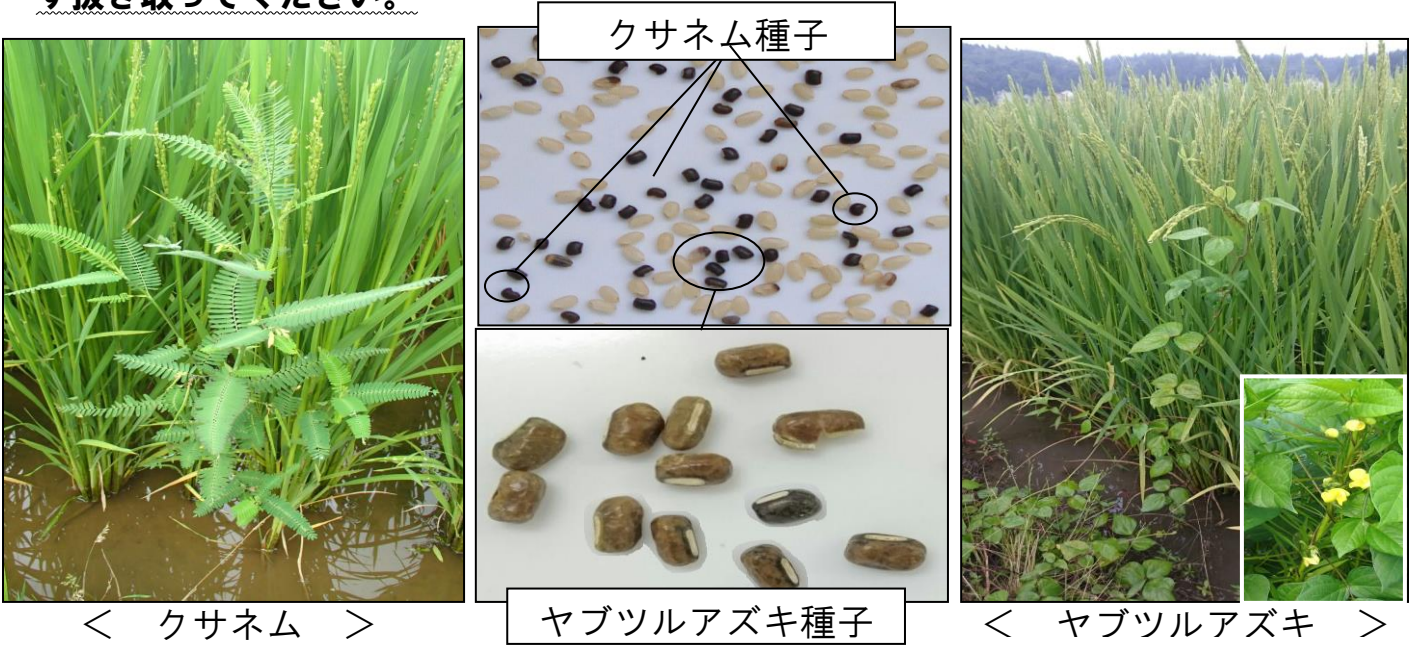
3. 穂いもち対策

◎止葉、上位葉にいもち病斑が見られた場合、穂いもちに移行しやすいので注意してください。

- (1) 新之助で葉いもちの発生が見られた場合は、直ちに茎葉散布による防除を行いましょう。
- (2) 業務用米の多収穫栽培や慣行栽培で葉いもちの発生が見られた場合は、ブラシンフロアブルまたはブラシンゾル等で直ちに防除してください。

4. クサネム・ヤブツルアズキ等の雑草は、収穫前に除去してください

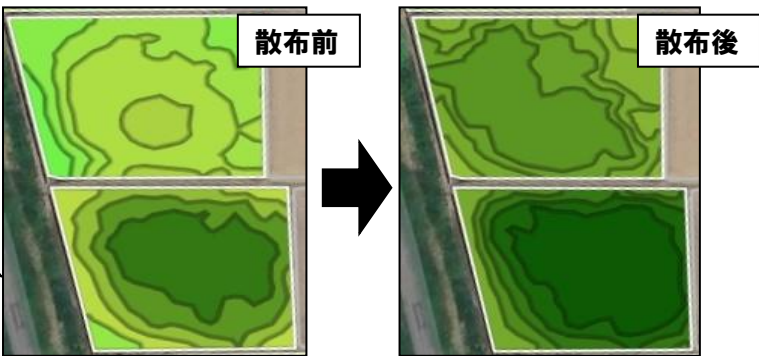
クサネム・ヤブツルアズキ等の黒褐色の種子は、大きさ・形が米粒と似ているため、米に混入すると選別できず、米の等級を落とす要因になります。種子をつける前に必ず抜き取ってください。



5. スマート農業の取組について ～ザルビオフィールドマネージャー～

指導体制強化を図るため、水稻ほ場を衛星データやAI等による営農支援システム「ザルビオフィールドマネージャー」を導入し、土壌マップや生育マップ等を活用した指導も視野に進めています。
穂肥指導会でも生産者のみなさまから下記の生育マップなどを見ていただきながら圃場の見える化による指導を実施いたしました。
今後につきまして、生産者のみなさまからもザルビオフィールドマネージャーの導入を進めていただき、新しい営農体制の構築に向けて進めてまいります。

穂肥散布による生育マップの変化が色の濃さで確認できました。また、色の薄い部分を中心に散布を行うことで生育の均一化を行うなど期待できます。



～ 熱中症や農作業事故に注意してください！ ～

- ◎こまめな水分補給と休息で、熱中症に注意しましょう！
- ◎安全確認、休息をとるなど安全運転・安全作業に心がけましょう！



お問い合わせ先

ながおか営農センター ☎0120-915882 ながおか西営農センター ☎0120-915883
とちお営農センター ☎0120-915885